
魔法世界の混沌

逸環

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

魔法世界の混沌

【Nコード】

N7191X

【作者名】

逸環

【あらすじ】

多くの人のように、ただ毎日を生きるだけの主人公。

彼が死んだ時に現れた神に彼が望んだ能力は月姫の混沌教授とFateの鉛色の狂戦士のもので……。

能力が片方マイナーすぎる！

とかの苦情は聞き入れないで、生き汚い主人公が頑張ります！

なんでかなあ？（前書き）

初めて投稿します。

なんでかなあ？

思えば、俺の人生は散々だった。

いや、散々ではない。

無為だったただけだ。

生きているとも言えず、死んでいないだけの毎日。

普通に学校に行って、普通に部活をやり、普通に帰って、普通に遊ぶ。

その繰り返し。

え？

勉強しろよって？

無理無理。

俺の辞書に勉強なんて言葉は載っていない。

今の高校に入れたのも、奇跡が五回くらい起きたからだし、講義なんて睡眠時間になっている。

善人でもないから、道で困っている婆さんを見ても助けないし、目の前で子供がトラックに轢かれそうになっても見ているだけ。

……………そのつもりだったんだがなあ。
なんで、あのガキを助けちゃったかなあ？

良心なんて咎めていない。

そんな心は持っていない。

ああ、わかってんよ。そんなデメエが、

「ムカつくからだ。こんちきしょー」

死にたくねえなあ。

「ああ、ムカつく」

何もない、ただ広いだけの空間で呟く。
思い出すことは、生前最後の記憶。

そう。

ガラにもなくトラックに轢かれそうになったガキを助けてしまった
時の記憶だ。

「ああ、ムカつく」

もう何度目かも分からない言葉を呟く。
どれだけ時間が経ったかも分からない。

延々と呟き、うずくまり、呟き、立ち上がり、呟き、横になり、と
りあえず寝る。
その繰り返し。

ここがどういうところかは分かっている。
俺みたいな、死んでもまだ馬鹿みたいに生きたがっている連中
を諦めさせるための場だ。

「ああ、ムカつく」

こんな何もない空間。

寂しくて、狂いたくて、そして死にたくなってくる。

けれど、

「死にたくねえなあ」

生前、俺は生きていたとは言えなかった。

ただ、情性に流されていただけ。

生きてすらいなかったというのに、なぜ死にたいと思えるのか。

「生きたい。生きて生きて生きて、そして逝きたい」

こんな何もない空間でも色褪せることなく、より彩度を増す想い。

「まだ生きてねえのに、死ねるわけねえだろっつー!!!」

「強情なやつじゃのう。とっとと死んで楽になればいいものを」

「……………あ？」

なんか、明らかにヅラをかぶった爺がすぐ横にいた。

「いつの間に?」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7191x/>

魔法世界の混沌

2011年10月21日03時02分発行